

【調査リリース】 飛沫防止用アクリル板に関するアンケート 「約7割の利用者がアクリル板にストレスを感じる」

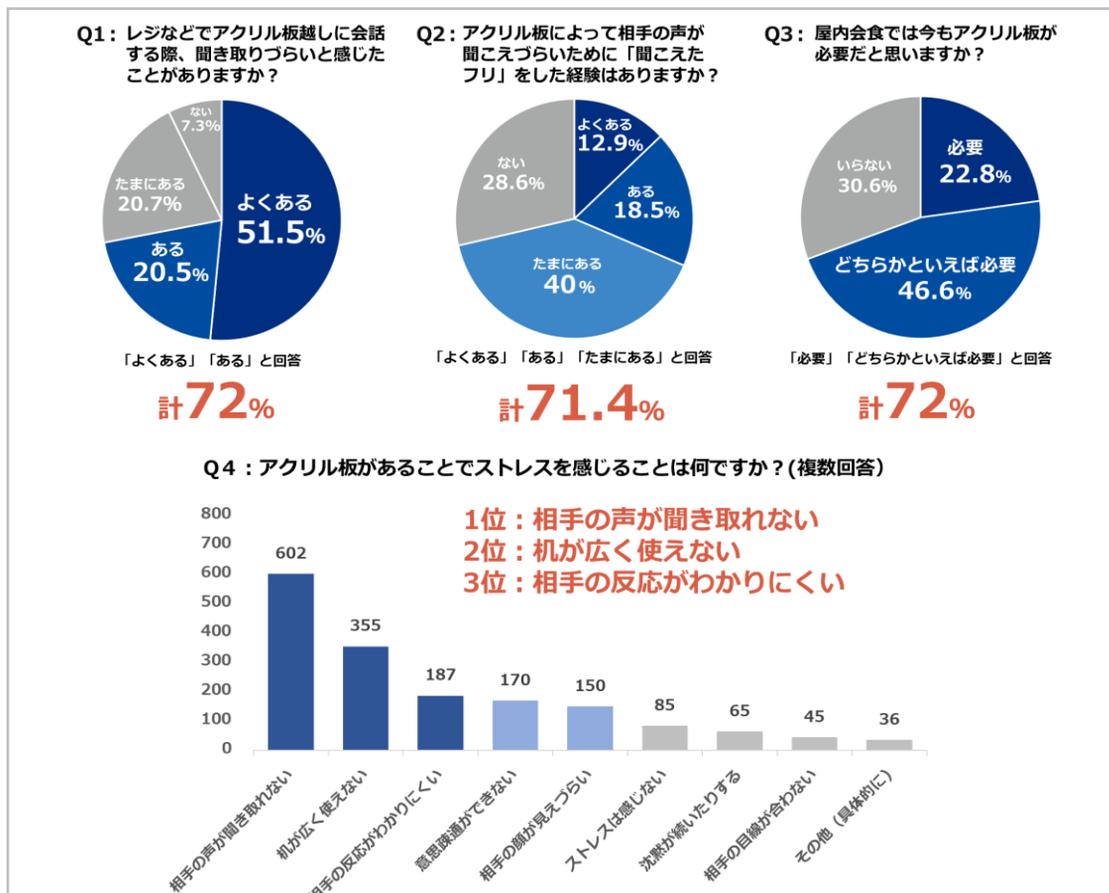
カルテック株式会社（本社：大阪市中央区、社長：染井潤一）は、全国の20～80代の男女約800人を対象に、新型コロナウイルスの感染対策として用いられる飛沫防止用アクリル板に関するアンケート調査を実施したところ、約7割の利用者がアクリル板にストレスを感じるという結果を得ました。こうしたなか、当社は呼気に含まれるエアロゾル（マイクロ飛沫）をキレイな空気のパーティションで遮断する新製品「TABLEAIR（テーブルエア）」を提案してまいります。

新製品：キレイな空気のパーティション「TABLEAIR」

<https://kaltec.co.jp/products/kl-t01/>

■アンケート結果のポイント（全国の20～80代男女811人を対象。2022年6月実施、自社調べ）

- ・利用者の約7割がアクリル板によって「会話が聞き取りづらい」「聞こえたフリをする」などを経験。
- ・利用者の約7割が屋内会食では今もアクリル板を必要としている（「必要」「どちらかといえば必要」）
- ・アクリル板へのストレスで多いのは「相手の声が聞き取れない」「机が広く使えない」「相手の反応がわかりにくい」があげられる。



【報道関係者様からのお問い合わせ先】

カルテック株式会社 広報部 TEL:06-6244-0760 Email: kouhou@kaltec.co.jp